

平成 23 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル
代表者名 代表取締役社長 中島 將典
(JASDAQ・コード番号8275)
問合せ先 取締役管理本部長 加藤 康二
電話 03-3498-1541

子会社フォーバル・リアルストレートの業績予想の修正に関するお知らせ

本日、当社の連結子会社である株式会社フォーバル・リアルストレート（JASDAQ・コード9423）は、平成23年5月19日に公表いたしました平成24年3月期業績予想について、第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社連結業績の変更はありません。当社連結業績につきましては現在精査中であり、変更が生じる場合は速やかに開示致します。

(添付) 株式会社フォーバル・リアルストレート開示資料「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」

以上

各位

上場会社名 株式会社FRS(株式会社 フォーバル・リアルストレート)
 代表者 代表取締役 社長 武林 聡
 (コード番号 9423)
 問合せ先責任者 取締役 管理本部長 早川 慎一郎
 (TEL 03-5468-6902)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年10月3日開催の取締役会において、特別利益の計上及び最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月19日に公表いたしました平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	210	△10	△10	△15	△84.46
今回修正予想(B)	289	△46	△46	△46	△259.01
増減額(B-A)	79	△36	△36	△31	
増減率(%)	37.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	263	△29	△29	△24	△172.53

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	480	10	10	5	28.15
今回修正予想(B)	660	△46	△46	△32	△180.18
増減額(B-A)	180	△56	△56	△37	
増減率(%)	37.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	465	△71	△72	△66	△455.11

修正の理由

(1) 特別利益の計上について

平成23年10月3日開催の取締役会において、当社の顧客を一部譲渡することを決定いたしました。それにより、平成24年3月期第3四半期会計期間において顧客譲渡による特別利益14百万円を計上する見込みとなりました。

(2) 業績予想の修正の理由

当社は、オフィス不動産物件の仲介から始めて内装工事、各種インフラ・オフィス機器、オフィス什器の手配までトータルにサポートする不動産関連業務を中心に事業活動を進めて行っております。

平成24年3月期第2四半期累計期間につきましては、集客サイトのご入力により、顧客からの問合せの増加を見込んでおりましたが、オフィス移転に関する問合せが予想を下回り、それに伴い不動産仲介及び内装工事、各種インフラや機器・什器の販売についての成約件数も予想を下回りました。しかし同時に取り組んでおりました問合せチャネルの複線化としての紹介営業や代理店の構築、グループ会社顧客への働きかけ強化等については順調に推移しております。

また、従来取次契約でありました内装工事等を今期からは顧客との直接的な関係性を構築するために、直接契約をすることと致しました。そのため売上高については、予想を上回る見込みとなっております。

損益面では、売上原価が合わせて取り込まれたことや先に申し上げたように集客サイトからの不動産関連収益が予想を下回ったこと、また諸費用の削減に取り組んだものの一部情報システム関連などでコスト削減見直し当初見込みより開始時期が遅れたこと等が生じたことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

平成24年3月期通期につきましては、より一層経営資源を不動産関連業務に集中するために、中部地区顧客および首都圏地区顧客の一部の営業権を譲渡致し、不動産関連収益の拡大の強化をいたします。また譲渡によりグループ会社との顧客の住み分けが明確になり、相互の顧客への働きかけが更に円滑に進められると考えております。

売上高につきましては、第2四半期累計期間と同様の理由により予想を上回る見込みですが、損益面につきましては、顧客譲渡による特別利益14百万円を特別利益として計上する見込みであるものの、8月に完了しました集客サイトのページリニューアルの効果が収益に寄与するまでにタイムラグがあることから、業績予想を修正いたします。

以上